

## 延岡市第三セクター等経営状況および点検評価結果報告書

1 作成基準日	令和5年6月1日	作成担当課室	観光戦略課	電話番号	34-7833					
2 名称等	名称	のべおか道の駅(株)		代表者	高木 亨輔					
	所在地	延岡市北川町長井5751番地1		電話番号	24-6006					
	設立年月日	平成29年1月1日		法人番号	83500-01-007118					
3 資本金	29,350	千円(市出資額: 28,000 千円)	(出資割合: 95.4 %)							
4 設立目的	3つの道の駅の経営体の統合によって道の駅の効果的・効率的な運営体制の強化を図ることで、道の駅の地方創生の拠点としての位置づけをより強固なものとし、さらなる魅力向上を図ることを目的とする。									
5 事業(業務)内容	1. 公共施設、下阿蘇海水浴場の維持管理運営の受託 2. ホテルの宿、ホテルの館、ケビン等の宿泊施設の運営管理 3. 公共団体からの各種委託業務の受託 4. 農林水産物等の販売 5. 農林水産物を使った加工品等の開発、製造、販売 6. 観光土産品の開発、製造、販売 7. 酒類、塩、たばこ、食料品、清涼飲料水等の販売 8. 飲食物の販売、提供 9. 工芸品・民芸品の販売 10. インターネットによる情報提供及び商品の販売 11. 地域の観光情報及び道路情報等の収集、提供 12. レジャー用品の販売及びレンタル 13. イベント等の企画及び運営 14. 前各号に附帯又は関連する一切の事業									
6 役員数および給与の状況	【役員】	総数	役員報酬総額 (千円)・R4年度	【正職員等】	総数	平均年齢	給与・賞与総額 (千円)・R4年度			
	役員	6	2	6,000	正職員	29	0	47.1	84,323	
7 財務状況	貸借対照表	項目	金額(千円)			損益計算書・正味財産増減計算書	項目	金額(千円)		
			R2年度	R3年度	R4年度			R2年度	R3年度	R4年度
		資産合計	143,090	172,041	180,201		経常収益	670,645	699,566	862,968
		負債合計	91,847	156,172	176,350		うち市からの補助金・委託料	40,059	20,501	21,521
		純資産合計	51,243	15,869	3,851		経常費用	685,968	733,334	875,592
		利益剰余金	22,093	△ 13,281	△ 25,299		経常利益(損失)	△ 15,324	△ 33,768	△ 12,624
							当期利益(損失)	△ 10,506	△ 35,374	△ 12,018
				当期利益(減価償却前)	△ 8,751	△ 32,009	△ 6,319			
8 第三セクター等経営状況チェック表による予備的診断評価	A	経営努力を行いつつ事業は継続								
	B	事業内容の大幅な見直し等による抜本的な経営改善が必要								
	C	深刻な経営難の状況にあり、経営の観点からは、事業の存廃を含めた検討が必要								
9 第三セクターへの関与の状況	(1)財政的関与									
	項目	金額(千円)			備考(目的、内容、算出根拠等)					
		R2年度	R3年度	R4年度						
	①	運営補助金								
	②	①以外の補助金	137							
	③	指定管理料	38,816	19,346	20,346	「浜木綿村」及び「ホテルの里休暇村」指定管理料				
	④	事業委託料	1,106	1,155	1,175	下阿蘇海水浴場管理運営委託料				
	⑤	税の減免額								
	⑥	短期貸付金残高								
⑦	長期貸付金残高									
⑧	その他									
	(2)人的支援									
	<人的支援の内容>									
10 施設利用者等の推移	施設名	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度			
	道の駅北川はゆま	422,237	449,516	437,747	268,430	276,140	327,106			
	ホテルの里休暇村	5,670	4,783	4,138	3,483	4,441	4,277			
	道の駅「北方よっちみろ屋」	256,493	257,792	232,746	182,182	184,044	205,958			
	浜木綿村(道の駅北浦)	129,492	122,791	116,860	97,815	97,360	90,242			
11 大規模修繕等の計画										
12 今後の取組み等に関する特記事項(所管課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各道の駅ともに既存の施設が完成から20年以上経過しており、経年劣化に伴う改修や修繕が随時必要な状況となっている。</li> <li>新型コロナウイルスの影響により流動人口が減少しており、売上げが大きく減少する中、物価高騰等による経費負担は増加している。各道の駅の人材や商品、情報などを相互に共有するなどスケールメリットを生かした効率的な管理運営を行い経費削減に努めるとともに、売上げ増加に繋がる取り組みの検討や対策を実施する必要がある。</li> <li>道の駅北浦(浜木綿村)については、令和5年度の「ひむか遊パークうみウララ再構築検討事業」において、大規模改修に向けた改修計画の素案を策定することとしている。</li> </ul>									